

## 関平鉱泉所の運営方式の改革を



議員 深松元 動画視聴

**問** 関平鉱泉水は、1832年に源泉が発見された。現在の鉱泉所は、1976年に設置され、昨年6月に最新鋭の製造機械を導入して、今年4月からグランドオープンする。この機会に、独立採算の会計方式へ変更すべきではないか。



完成した関平鉱泉所

**答** 法人化した場合における損益、法人税、消費税のシミュレーションを行っている。経営の在り方については、税負担、減価償却費などのシミュレーション結果や経営目標、関連法案などを総合的に勘案し、最適な経営形態を見極め、適切に対応する。

レーシオン結果や経営目標、関連法案などを総合的に勘案し、最適な経営形態を見極め、適切に対応する。

## 敷根清掃センターの長寿化計画を急げ

**問** 敷根清掃センターは平成15年の供用開始以来13年が経過している。維持補修などの経費が年々増加することが懸念される。早急に長寿化計画を策定すべきではないか。

**答** 長寿命化の方法として、燃焼方式の変更に伴い、経費削減を行った先進事例もある。併せて、焼却炉への負荷や環境負荷の軽減を図るため、ごみの減量化・資源化の基本方針も策定する予定である。可能な限り早い段階で、長寿化の方針を決定したい。

その他の質問  
・防災対策について

## 路上喫煙やポイ捨てなど喫煙マナーの啓発を



議員 阿多己清 動画視聴

**問** 路上喫煙、歩きたばこ、水路や側溝等へのポイ捨てなどをよく見かける。市民から喫煙マナーが悪いとの意見も聞く。街中での秩序ある喫煙の

## 国体の馬術競技会場の整備は馬術振興のため一部常設の整備を



議員 厚地 覺 動画視聴

**問** 第75回国体の馬術競技会場が農大跡地に決定したが、県馬術競技振興のため、一部常設の整備はできないか。

あり方を示す意味で、何か対策はないか。

**答** 現在の生活環境美化条例において、歩行中の喫煙禁止や吸い殻等のポイ捨て禁止の規定も整備している。しかし、路上や用水路等へのポイ捨て行為が散見されているので、今後、このような行為の根絶を目指し、意識の向上と啓発をさらに図っていききたい。

**問** 商工会青年部や女性部が中心となって、各地域でイベントを開催するなど、地域活性化のために頑張っている。これらの事業にも、市として助成はできないか。

**答** 商工会が行うイベント等への助成については、自主的活動の面が大きいいため、現状では困難である。しかし、市民グループや地域組織等が行うイベントで、公益的事業と認められるものについて、



ふるさと霧島夏祭り

**問** 将来の一体的な利用を勘案して、農大跡地13haの全体を整備するべきではないか。

**答** 地元の方々の憩いの場であり、健康維持のためにも関係部署と協議し、代替地を提供できるよう努力する。

**答** 全体の整備となると、一般財源による相当な負担となることから、庁内の推進委員会や県、市で構成する調整会議等で、慎重に検討を進めている。

**問** この地に市民の憩いの広場として、地元の方がグラウンドゴルフ場を手作りで整備している。代替地の準備はあるか。

**問** この地に市民の憩いの広場として、地元の方

がグラウンドゴルフ場を手作りで整備している。代替地の準備はあるか。

## 学校教育問題について



議員 下深迫孝二 動画視聴

**問** 本市で教職員と生徒のトラブルはないか。また、いじめによる生徒の長期欠席者はいないか。

**答** 授業や部活動での指導、言動に対する相談が寄せられることはある。教育委員会が話を聞き、学校と保護者の話し合いにより解決している。いじめが原因で長期欠席をしている児童生徒は、現在のところ報告はない。

**問** 放課後の部活動に係る教職員への手当や、遠征のための旅費補助は考えられないか。

**答** 4時間程度の指導業務で月額3000円、8時間程度の引率で425

0円を支給し、旅費については2分の1を上限に補助している。

## 関平鉱泉所について

**問** 工場が完成し設備もオートメーション化されて半年が経過したが、売上と目標に向かっている取組はどうか。

**答** 昨年4月から12月までの売上見込額は2億1596万円で、前年同期と比較すると249万円減である。販売促進の取組は、新規販路開拓として小売店や量販店への打診、輸出商談会への参加などを行っている。

**問** 売上を一般会計に入れたらと提言したが、どのような協議がされたか。

**答** 売上を伸ばすことによって、収益の一部を一般財源化できるよう営業努力を積み重ねる。

## 鹿児島空港の運用時間延長について



議員 岡村一二三 動画視聴

**問** 住民説明会での意見集約結果を示せ。

**答** 今ある騒音をどうかしてほしいなどの環境対策についての意見、道路整備等の意見である。

**問** 空港周辺環境整備委員会のメンバー内容と委員会の任務を示せ。

**答** 空港周辺環境整備基金対象区域のすべての地区自治公民館長を委員として委嘱し、空港周辺環境整備等について協議することとしている。

**問** 平成5年に県は補助金交付要綱で横川町も明記しているが、今回、住民説明会の必要はないと

**答** 鹿児島空港連絡会で、地域の声を十分配慮した運行になるよう要望した。防音壁については一朝一夕に解決できないが、エンジンテスト騒音については管理者である国に県・市共に要望していく。

した根拠を示せ。

**答** 平成25年4月1日に、国が騒音対策区域の範囲を見直した。基準がW値70以上となり、鹿児島空港周辺地域環境整備基金の対象区域は、溝辺地区と隼人地区の空港周辺地域となったためである。

**問** 運用時間延長に関する覚書では、騒音対策としてエンジンテスト、ヘリコプター・セスナ機、運用時間外離発着による騒音について国・航空会社との協議及び要望活動の推進を掲げている。時間延長以前に課題解決が先ではないか。